

平成30年度 鴨川小学校 学校評価の報告

アンケートへのご協力ありがとうございました。皆様からいただいたご意見・児童アンケート、そして、職員による自己評価をもとに、より良い学校づくりを目指していきます。

保護者アンケートから

【4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない 0:わからない】 ※回答数 17人

		4	3	2	1	0	合計	平均	昨年
①	本校教育についての情報が、学校だより、学級だより、ホームページ等で分かりやすく伝えられていると思われませんか。	6	10	1	0	0	17	3.3	3.6
②	本校は、地域の方々や保護者の方々と協力して教育を進めていると思われませんか。	11	5	1	0	0	17	3.6	3.6
③	本校は、地域の文化や人材を活用して、鴨川に愛着をもった子どもを育てるような教育を進めていると思われませんか。	13	4	0	0	0	17	3.8	3.7
④	本校は、地域の方々や保護者の方々と協力して、子どもが健康で安全な生活ができるような教育を進めていると思われませんか。	9	6	2	0	0	17	3.4	3.5
⑤	本校は、児童理解に努め、基本的な生活習慣を身につけるような教育を進めていると思われませんか。	5	11	1	0	0	17	3.2	3.4
⑥	本校は、基礎・基本を大切にされた分かりやすい学習指導をしていると思われませんか。	6	10	1	0	0	17	3.3	3.6
⑦	本校の児童は、「おはよう」「さようなら」などのあいさつや「はい」などの返事ができていると思われませんか。	5	5	6	0	1	17	2.9	3.0
⑧	本校の児童は、学校行事などに進んでかかわろうとしていますか。	11	6	0	0	0	17	3.6	3.6
⑨	本校の児童は、良好な友達関係を築いていこうと意識しながら学校生活を送っていると思われませんか。	6	8	1	0	2	17	3.3	3.3
⑩	あなたのお子様は、進んで家庭での学習に取り組もうとしていますか。	3	11	12	1	0	27	2.6	2.9

○概ね保護者から高い評価を頂いている。特に②地域・保護者との連携、③ふるさと教育、⑧学校行事については高評価である。

○やや劣るのは、⑦挨拶・返事と⑩家庭学習である。挨拶については、昨年同様に子どもたちのアンケートによると自分たちはできていると感じている子どもが多い。今後の課題ととらえ、家庭や地域への広がりを含めて、改善に努めたい。家庭学習については、進んで取り組んでいる子もいるが、課題が残る。子どもたちの意識が少しでも変わっていくように取組を進めていきたい。

保護者から

- 小規模校だからこそできる学習、地域学習及び地域との交流は、とても素晴らしいです。
- 先生方が子どもたち一人一人に向き合い、教育できる少人数ならではの学校ありがたいです。
- 勉強で分からないところがあると、すぐ教えていただけるのでありがたいです。
- バス乗り場での挨拶が気になります。大人がしないとできていません。もっと学校で言って欲しいです。
- 挨拶は家庭でも言っていますが、大きな声での挨拶が苦手です。学校では言ってもらっているので、どちらかという親が原因かもしれませんね。
- 言葉遣いについて、子どもたちが話し合いをしたことがあったので、今後も続けてほしいです。
- 落ち着いたない雰囲気になります。授業中の態度も気になります。また、子ども同士の言葉遣いや手が出てしまうこともあると聞きます。子どもたちが安全に、安心して生活できる学習環境を望みます。
- 持ってくるものを急に子どもから言われて困りました。宿題の指示が、子どもに十分伝わっていないことが何度かありました。
- 家庭では「まず、先生や友だちの話をしっかり聞くこと」や「相手に伝わるように話すこと」を大切にしています。学校でも、子どもたちが話す内容について説明不足だなと感じられたときには、指導してもらえるとありがたいです。
- 冬は早く日が暮れるので、家が遠い子が帰宅するころには暗くなります。子どもが安全に帰宅できるよう配慮が必要だと思います。(街灯設置や見守る人など)

地域の方から

- 1年生を見ていて、入学当時は座っていても辺りをきょろきょろ見回したり「先生どうしたらいいの?」と立ち歩いていたりした子どもたちも、今では自分がすべき事をしっかりと考え、自信をもって行動している姿を見ていて、一年間の大きな成長を感じています。
- 子ども達は、私の顔を見ると元気なあいさつをしています。なかには笑顔で手を振ってあいさつする子どももいます。
- 子ども達は素直で人懐っこくて、いい子ばかりです。家族や地域の人に見守られて健やかに育っているなと感じています。
- 子ども達のお手本となるよう向上していきたいと思います。
- 地域の事について細やかな情報を収集し、深く関わろうとして頂いている姿勢に大変ありがたく感じています。そのような先生方の姿勢が、子ども達にふるさとを愛し大切に思う心を育てている事も強く感じます。自然に恵まれ、少人数だからこそできる活動を多く取り入れられた学校教育の中で、伸び伸び育てたいです。
- 小中一貫になるので、大人数に慣れるような環境ができるといいなと思います。

学校評議員会から

- 高学年は、低学年の面倒をよく見ていて、高学年としての振る舞いができていて頼もしい。
- ゴミ問題など地域のことを調べて、「環境を考えるかとう市民の集い」で、発表をしたことは非常に良かった。
- 長寿を祝う会や二世代ふれあいふるさと学習など、地域の方を招いての行事が良かった。
- 話を聞くときは、人の目を見て話を聞くことを子どもたちに話している。挨拶も顔を見てできると良い。
- 子どもたちは先生には大きな声で挨拶をしているが、地域の人にも大きな声で挨拶できると良いが、恥ずかしさが強く出てしまっている。
- 昔は、地域の人と出会うことが多かったが、この頃減ってきている。このことから、挨拶が減ってきているのかなと思う。
- 挨拶は、大人の責任、地域の責任でもある。大人同士でも挨拶が減ってきている。
- 挨拶をするときは、大人が先に声を掛けてやるのが大事である。
- 家で、子どもがときどき本を読んでいるが定着していない。

児童アンケートから

【4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった】

30人

〈ただし①と⑤は

【4:とても楽しかった 3:楽しかった 2:あまり楽しくなかった 1:楽しくなかった】〉

		4	3	2	1	合計	平均	昨年
①	学校は楽しいですか。	15	12	1	2	30	3.3	3.4
②	友だちの発表を考えながら聞いていますか。	17	12	1	0	30	3.5	3.2
③	発表をがんばっていますか。	22	8	0	0	30	3.7	3.6
④	家で進んで勉強していますか。	20	5	5	0	30	3.5	3.8
⑤	行事は楽しいですか。	18	10	1	1	30	3.5	3.7
⑥	フリートークで発表していますか。	17	11	1	1	30	3.5	3.1
⑦	家で読書をしていますか。	7	10	5	8	30	2.5	2.8
⑧	友だちと力を合わせて、学習したり遊んだりできていますか。	28	1	1	0	30	3.9	3.6
⑨	家でお手伝いをしていますか。	17	6	5	2	30	3.3	3.1
⑩	地域の人に進んであいさつをしていますか。	19	10	1	0	30	3.6	3.5
⑪	上級生として、下級生のお手本となる行動ができましたか。(3年生以上 17名対象)	9	6	2	0	17	3.4	3.4

○子どもたちも概ね高評価である。特に③発表、⑧友だちと協力については、よくがんばっている。

○昨年度よりよくなっているのが、②友だちの発表を聞く、⑥フリートーク、⑧友だちとの協力、⑨お手伝いである。フリートークについては、ワークシートを使ったり、振り返りを意識させたりするなど力を入れて取り組んだので、子どもたちの評価も高くなっている。⑩のあいさつは子どもたちは高評価だが、保護者の評価はそれほど高くなく意識に差がある。保護者と連携した取組を継続して粘り強く推進していく必要がある。

○昨年度より劣るのは、④家庭学習、⑤行事への意欲、⑦家庭での読書である。家に帰ると、どうしてもテレビやゲームなどの誘惑に負けてしまっているようである。また、家に面白い本が少ないと答えている子どもも数人いる。来年度はこのことを踏まえて家庭での協力を得ながら、学習や読書活動の取組の工夫をしていく必要がある。

職員による自己評価から

本年度の重点項目について ※4点満点		平均	昨年
①	「豊かな地域資産（自然、歴史、文化等）」を活かして、ふるさとを心のよりどころにする基盤形成を行う。	3.1	3.1
②	「極小規模」の利点を活かして、基礎・基本の定着を図る。	3.0	2.6
③	「複式学級」の利点を活かして、学びを広めたり深めたりする。	2.6	2.5
④	交流教育を推進して、人とかかわる力を育てる。	3.4	3.4
⑤	特別活動を活性化し、よりよい学校生活や人間関係を築こうとする態度を育てる。	3.4	3.4
⑥	表現する力を伸ばす。	2.9	2.9
⑦	健やかな身体と心を育てる。	3.3	2.9
⑧	家庭や地域と連携した共育作戦を推進する。	2.6	2.6
⑨	教職員の勤務時間の適正化に向けた取組を実施し、教育活動のさらなる充実を図る。	2.6	3.1

アンケートを参照しながら、学校としての取組や個人としての取組について、各個人が評価し、それを集計し、全員で協議しました。そして、来年度に向けて、以下のような「改善方策」を決定しました。

平成31年度に向けての改善方策

○学 習

- ①個人カルテなどを活用し、基礎的な学力の定着を図る。
- ②「家庭学習の手引き」などを活用して、家庭学習の習慣化を図る。
- ③親子読書運動などを実施し、学校・家庭における読書活動の推進を図る。

○生 活

- ①自分から進んで挨拶をしたり、返事をしたりできるように習慣化を図る。
- ②自分が言われてうれしい言葉がたくさん言えるように習慣化を図る。
- ③給食のルールを守り、食べ残しをしないように習慣化を図る。

○その他

- ①「ふるさと学習」を研究の中核に据え、主体的で、子ども同士の関わりや地域とのつながりを深められる授業を実践していく。
- ②子どもたちの居場所を保障するためにも、毎月アンケートを実施するとともに、担任と子ども一人一人との面談を実施し、子どもの理解を図る。
- ③挨拶、言葉遣い、家庭学習、読書活動などについて、子ども・保護者・教師の三者が一堂に会し、話し合う場を設定するなどして、共育作戦を推進する。